

社会貢献

関連するトピックスとデータの中から一部を報告します。

社員やお客さまと一体となって行う社会貢献

オリコグループは、社会の一員である企業市民として社会や地域に貢献することを目指しています。地域団体やNPOなどの外部組織とも連携しながら、社員一人ひとりの自主的・能動的な社会貢献活動を支援しています。

活動を通じて、さまざまな社会の課題やニーズへの気づきにもつながると考えています。

社会への還元

約 **96** 百万円

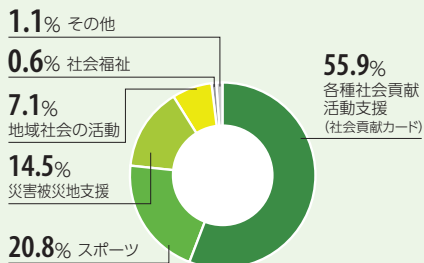
社会貢献活動支出額 (2014年度)

人・モノ・仕組みなど、オリコの資源を活かして社会貢献につながる活動を行い、企業市民としての役割を果たしたいと考えています。

※社会貢献活動支出額は、オリコ単体で、一般社団法人日本経済団体連合会の1%クラブの集計基準を参考に集計しています。



社会貢献活動支出額の内訳



「Orico One Step Program」ロゴマーク



プログラム名称の趣旨：
「社会のために何かしたい」と思っている社員に、一歩踏み出して行動できるよう会社が後押しする。

● 「オリコグループ社会貢献ファンド」支出額

1,150 万円

※ 2015年3月末時点

2012年4月に設立した「オリコグループ社会貢献ファンド」は、社員が自主的に参加する継続募金です。毎月の給与天引きで1口100円(口数任意)から参加でき、会社は参加社員1人に対し100円を加算して積み立てています。年1回、社員の投票による選択に基づき、災害や子どもの育成など資金を必要とする状況にある団体に寄付しています。

- 2013年7月 東日本大震災支援として450万円 (あしなが育英会300万円、日本赤十字社150万円)
- 2014年9月 広島市豪雨災害支援として100万円、東日本大震災支援として600万円(あしなが育英会300万円、日本赤十字社150万円、フローレンス150万円)

※このファンドの支出額は、上記の「社会貢献活動支出額」には含まれていません。

● 「Orico One Step Program」参加者数

123 人

※ 2014年度

創業60周年にあたる2014年の8月に社内イントラネット内に開設した「Orico One Step Program」は、社員の社会貢献活動を会社が後押しする仕組みです。自宅で家族と一緒にできる活動や団体で参加できる活動などさまざまな活動情報を紹介しています。積極的に参加しやすい職場風土と一体感の醸成のために、「参加者の職場にもちょっと良いことがある」というコンセプトで、活動後に参加者の職場にポイントを付与し、職場単位でお菓子など約9,000種類の商品や寄付などに交換できる「Orico ☆コミュニケーションポイント」を設けています。

▶▶ 社会の課題やニーズに寄り添ったきめ細かな活動を

東北への継続的な支援

社員・家族のボランティア活動

2011年11月以降、宮城県本吉郡南三陸町を中心に社員・家族のボランティア活動を継続し、漁業・農業や清掃など、その時々で人手が必要とされる作業の手伝いをしています。活動に必要な費用を会社が負担することで、社員の参加を後押ししています。



社員食堂での東北応援メニュー

2011年10月以降、食の面での東北応援策として、岩手県・宮城県・福島県の野菜や畜産物を使用したメニューを、本社ビル・本社別館・鶴ヶ島ビルの社員食堂で定期的に提供しています。2013年度からは、毎月11日に実施しています。

マッチングギフト

カード会員のお客さまからお寄せいただいたポイントにオリコが同額を加算して、2つの団体(あしなが育英会、日本赤十字社)に寄付しています。



子どもたちを育む“みんなに笑顔を”プロジェクト

将来を担う被災地の子どもたちに夢と元気を届けるために、プロサッカー選手の中澤佑二氏(横浜F・マリノス)がオフの合間に一個人として活動しているプロジェクトです。その想いに共鳴し、2012年9月から、社員・家族がボランティアとしてミニサッカー運営の手伝いやクイズゲームなどを行いながら、一緒に活動しています。



～つながる活動(宮城県宮城郡七ヶ浜町)～

2014年、中澤選手が率いる“みんなに笑顔を”プロジェクトの活動で、被災農地の整地と種まきをし、その後、社員・家族ボランティアで収穫を手伝いました。



「第6回“みんなに笑顔を”プロジェクト」中澤選手と社員・家族ボランティア16人で農園の整地とねぎみ大根の種まきに参加

8月31日の活動に参加した近隣在住の社員が農園の様子を観察

社員・家族ボランティア10人が、ねぎみ大根の収穫に参加

東日本大震災被災地への寄付完了額

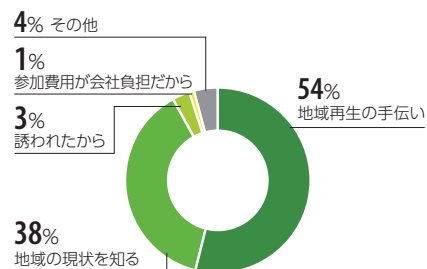
1.7 億円

内、マッチングギフトの寄付完了額 8千万円
※2015年3月末時点

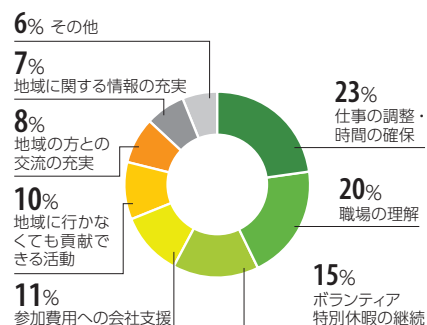
社員・家族のボランティア活動参加

21回 196人

ボランティア活動への参加理由



今後のボランティア活動継続に必要だと思うこと



社員食堂での東北応援メニュー

41種類 15,011食

※2015年3月末時点

“みんなに笑顔を”プロジェクトへの社員・家族のボランティア活動参加

8回 75人

※2015年3月末時点